

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道432号 <small>たけはら</small> 竹原バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	広島県
起終点	自：広島県竹原市下野町 至：広島県竹原市新庄町			延長	4.3 km
事業概要 一般国道432号は、広島県竹原市から島根県松江市に至る延長約214kmの幹線道路である。竹原バイパスは、交通混雑の解消及び山陽自動車道河内IC、広島空港へのアクセスの向上を図ることを目的とした延長4.3km（暫定2車線）道路である。					
H6年度事業化		H7年度都市計画決定		H8年度用地着手	
全体事業費		約71億円	事業進捗率	56%	供用済延長
計画交通量		14,000台/日			
費用対効果分析結果	B/C： <small>(事業全体)</small> 1.5 <small>(残事業)</small> 4.7	総費用： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 25/78億円 事業費：22/75億円 維持管理費：3.3/3.3億円	総便益： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 119/119億円 走行時間短縮便益：117/117億円 走行費用減少便益：2.7/2.7億円 交通事故減少便益：0.17/0.17億円	基準年： 平成20年	
感度分析の結果 ：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.6(交通量+10%) B/C=4.0(交通量-10%) 事業量変動：B/C=4.3(事業費+10%) B/C=5.2(事業費-10%)					
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（広島空港へのアクセス向上が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築（生活圏中心都市（竹原市～東広島市）間を連絡する路線である） 他4項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 竹原市をはじめとする関係7市2町で構成される国道432号改良促進期成同盟会において、早期整備の要望をされている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 竹原市内から一般国道2号、山陽自動車道や広島空港へアクセスする重要な路線であり、平成17年度の道路交通センサスにおいても日交通量が1万6千台を超えている状況である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得難箇所が点在している状況であるため、工事着手できていない状況にある。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地未取得箇所の買収促進に努め、早期に工事着手する。					
施設の構造や工法の変更等 盛土材料として、近郊で施工中の大仙バイパスの発生土を流用するなどし、コスト削減を図る。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					
					
凡例 ■ 供用済 ■■■ 事業中					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。